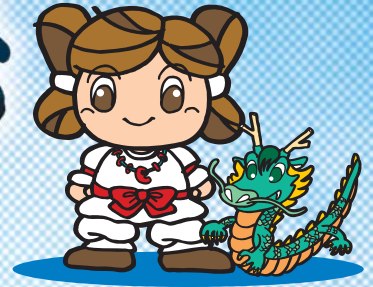


2008 平成20年

ふいふい 放水足踏

10月号 vol.175

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

ここまで進んでいる
グリーンステップ(G.S.) 事業



はでば

秋風の吹く季節となりました。神戸川周辺に広がる水田では、稲刈りの真っただ中です。稲を干す「はでば」が秋ならではの風情を感じさせてくれます。

ここまで進んでいる グリーンステップ(G.S.)事業

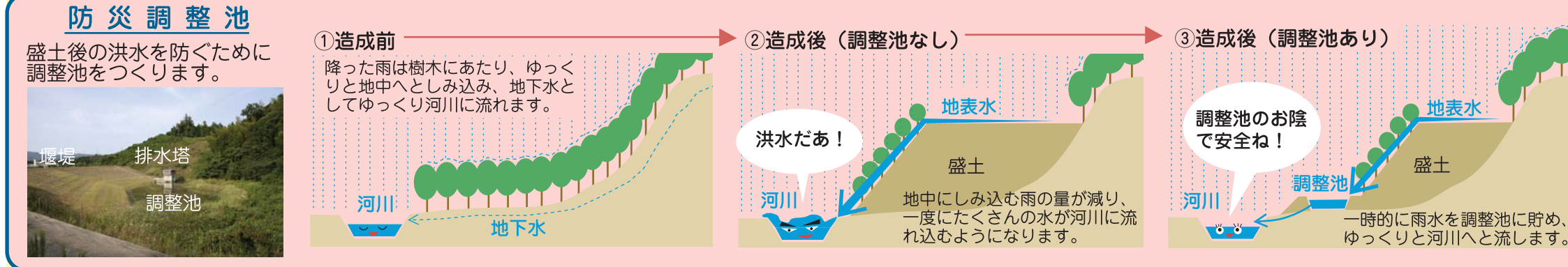
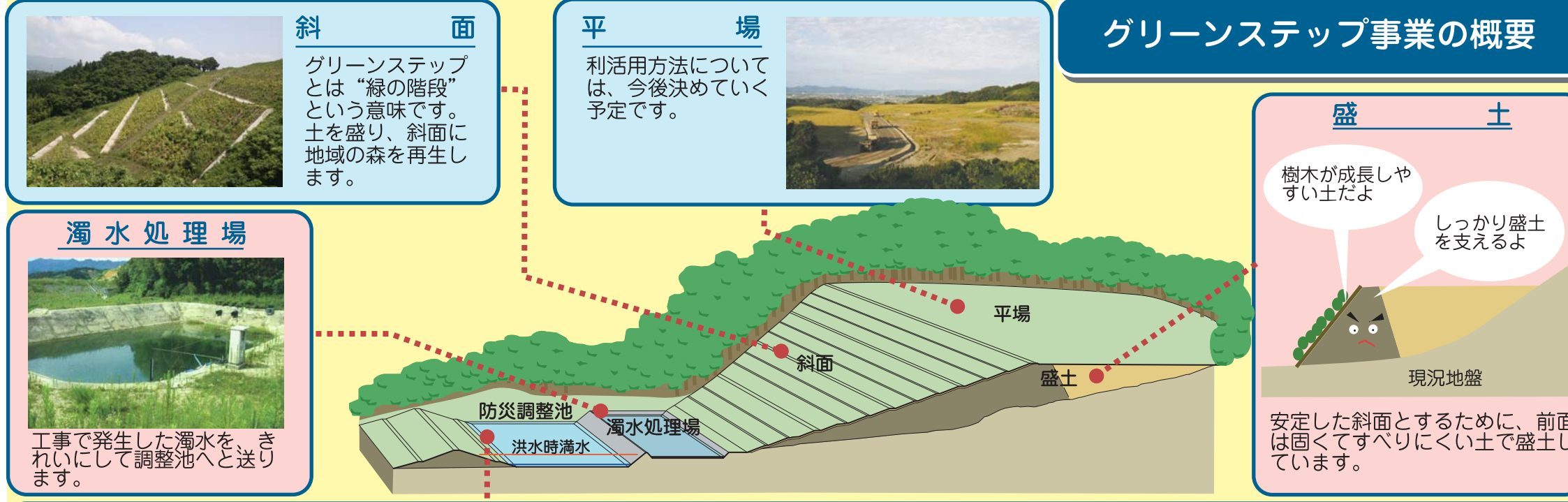
斐伊川放水路事業では、放水路の開削や神戸川の拡幅のため、山や川底を掘削するので大量の土砂が発生します。その量は1600万m³にのぼり、そのうち約400万m³は堤防を造るのに利用します。残りの1200万m³の土砂は、斐伊川放水路（開削部）南側の3つの谷に運ばれ、盛土し跡地を有効に活用する計画で、グリーンステップ事業と呼ばれています。



工事の進め方

- 1 地下排水管を敷設**
地中に雨水を流すための排水管を埋設します。
- 2 工事用道路を造る**
3つの谷へ土砂を運ぶために、大型ダンプトラックが通る幅13mの道路を造ります。
- 3 防災調整池を造る**
水を貯めるための堰堤、水量を調整して排水する排水塔などの施設を造ります。
- 4 濁水処理施設を造る**
沈砂池兼一時貯留池などを造ります。
- 5 土を運び盛土**
掘削した土を運び、整形します。
- 6 排水処理施設を設置**
地表面に降った雨水を排水するための排水路を設置します。
- 7 斜面に植樹**
地域のみなさんにも手伝っていただき、斜面に植樹を行っています。
- 8 跡地を活用**

グリーンステップ事業の概要



分流堰工事のための 迂回路工事中

斐伊川から放水路への分流地点には分流堰が設置されます。その工事の影響範囲にある県道出雲三刀屋線の迂回路を堰本体工事に先駆けて行っています。分流堰完成後、県道は、堰の上部を通過する新しい道路として生まれ変わります。



斐伊川放水路工事も終盤にかかってきました。工事完了後の河川敷は、地域のみなさんも利用することができるよ！



斐伊川では、どのように河川敷を利用しているのか、事例を紹介するね。



河川敷の利用・管理 事例紹介

① 斐伊川河川敷公園

斐伊川は、斐伊川放水路・神戸川（拡幅部）と同様に、国土交通省出雲河川事務所が管理する河川です。武志地先は河川敷幅が広く、河川敷公園として地元自治体により占有されています。公園内には野球、ゲートボール、サッカーなど**多目的に使用できる広場**が整備され、多くの市民に利用されています。管理・運営は「**指定管理者制度**」を導入し、建設業、運動公園の管理実績を持つ企業、セキュリティ事業者、地域活性化コンサルタント等により組織された民間会社によって行われています。



指定管理者制度

これまで地方公共団体や外郭団体に限定されていた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人、その他の団体に包括的に代行させることができる制度です。民間事業者等のノウハウや活力を活かしながら、利用者へのサービスの向上を図るとともに、管理運営経費の節減を目指しています。

工事発注情報

斐伊川放水路狐廻橋下部外工事	H20.9.6~H21.2.27	大福工業(株)
斐伊川放水路市道293号整備外工事	H20.9.10~H21.3.19	(株)カザケン
斐伊川放水路大社低水護岸外工事	H20.9.27~H21.2.27	(株)中筋組



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。 問い合わせ先: 放水路推進室 ふれあい放水路担当